

2008年2月1日

各 位

会 社 名 朝日インテック株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 宮田 尚彦
(東証第二部・名証第二部・JASDAQ コード番号：7747)
問 合 せ 先 専務取締役経営戦略室長 竹内 謙式
(TEL.052-768-1211)

業績予想（連結）の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、昨年2007年8月10日の決算発表時に公表した2008年6月期（2007年7月1日～2008年6月30日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間期の業績予想数値の修正（2007年7月1日～2007年12月31日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期（中間） 純利益
前 回 発 表 予 想（A）	6,168	1,020	977	521	32.90
今 回 修 正 予 想（B）	6,080	650	650	240	15.17
増 減 額（B - A）	88	370	327	281	17.73
増 減 率（%）	1.4%	36.3%	33.5%	53.9%	
（ご参考） 前中間実績（2007年6月期中間）	5,527	1,108	1,173	620	39.12

（金額の単位：百万円）

2. 通期の業績予想数値の修正（2007年7月1日～2008年6月30日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想（A）	13,450	2,855	2,773	1,587	100.14
今 回 修 正 予 想（B）	12,055	1,298	1,258	769	48.55
増 減 額（B - A）	1,395	1,557	1,515	818	51.59
増 減 率（%）	10.4%	54.5%	54.6%	51.5%	
（ご参考） 前期実績（2007年6月期末）	11,643	2,101	2,202	1,158	73.10

（金額の単位：百万円）

3. 修正の理由

(中間期見込みについて)

中間期の業績におきましては、米ドル安などの為替動向の変化に伴う海外売上高の減少、更には主要原材料であるステンレスやプラチナなどの価格高騰に伴う原材料の増加、タイパーツ高などの為替動向の変化に伴う製造経費の増加、FDA や MDD などの世界レベルに準じた品質保証レベルに準拠するための施策の一環としての量産体制の改善や新工場 ASAHI INTECC HANOI CO., LTD の立上げに伴う諸経費の増加、新製品生産開始に伴う歩留まり悪化、そして下記(通期見込みについて)に記載致しております下期以降のアボットラボラトリーズ社との取引減少を見越した減産に伴う利益率の低下など複数を要因として、特にメディカル事業及びメディカルデバイス事業の売上原価の増加が見込まれます。

販売費及び一般管理費については J-SOX 対応のための諸費用の計上が当初の業績予想より少ないことを主因として販売費及び一般管理費の減額が見込まれます。

上記を総合し、中間期の売上及び利益について下方修正を実施致します。

(通期見込みについて)

通期の業績におきましては、主力製品 PTCA ガイドワイヤーの欧米市場向け取引の減少や、為替動向の変化に伴う海外売上高の減少などを要因として、売上高の減少が見込まれます。また、上記(中間期見込みについて)の記載と同要因にて下期におきましても引き続き売上原価が増加する傾向にあります。

よって、通期の売上及び利益について下方修正を実施致します。

セグメント別の詳細については、下記をご参照下さい。

メディカル事業

これまで弊社の主力事業でありますメディカル事業では、循環器系を中心とした低侵襲治療製品について、欧米市場を中心としたグローバル市場への展開の加速化に取り組んでおります。特に、海外の主軸市場である欧米市場におきましては、米国大手のアボットラボラトリーズ社と主力製品 P T C A ガイドワイヤーの独占販売契約を 2011 年 12 月まで契約締結をしており、かつ 2010 年 12 月末までは、年次で取引が増加する内容にて最低取引本数を定めております。

この数年来、P T C A 治療(循環器系における低侵襲治療)は、心臓疾患患者数の増加や、再狭窄率を低減する薬剤ステントの普及、さらには他社にはない高い優位性を持ち、かつ C T O (注 1) 治療も可能な当社の P T C A ガイドワイヤーが欧米市場にて近年販売開始されたことなどから、欧米市場を中心に症例数が増加する傾向にありました。しかし 2006 年度に P T C A 治療に使用する薬剤ステントの安全性懸念が発生したことを契機として薬剤ステント市場が大きく縮小し、更にはこれが P T C A 市場全体に影響した結果、2007 年度の P T C A 治療件数は増加から一転し、米国を中心に 10% ~ 15% の減少に転じております。

このような急な環境悪化に伴い、アボットラボラトリーズ社と弊社は、2008 年度以降の最低取引本数の見直しについて協議を開始しております。最低取引本数の期間は 1 月 ~ 12 月の一年間をベースに組み立てられており、この協議の結果によっては、弊社の下期である 2008 年 1 月以降の売上は、最低取引本数に準じた内容である従来予想を下回る可能性があります。なお、現契約上は、最低取引本数に満たない場合には、その利益相当分をアボットラボラトリーズ社が補填する条項が含まれておりますが、このような急激な環境の悪化を受け、今回の協議に至っております。

弊社は、P T C A 市場の回復を見据えた中長期的な視点から、販売ルートの変更も含めた様々な戦略の選択肢

があるものと認識しております。

下期の業績予想に関しましては、現在の協議内容である取引本数に準じた内容に下方変更致しておりますが、協議の最終結果、更には戦略の転換によっては、業績予想が改善に向かう可能性があります。

なお、昨今の為替動向の変化を踏まえ、当初業績予想では米ドル 118.00 円、タイパーツ 3.49 円を前提と致しておりましたが、このたびの業績予想では米ドル 103.00 円、タイパーツ 3.49 円を前提として適用しております。

また、上記の売上高減少のほか、上半期に引き続き下期におきましても、上記（中間期見込みについて）にて記載と同要因にて売上原価が増加する傾向にあります。

販売費及び一般管理費については、管理費を中心に経費削減に努め、減額が見込まれます。

上記を総合し、下期の売上及び利益の業績予想について下方修正を実施致します。

（注 1）CTO / 慢性完全閉塞とって長期間完全に閉塞した状態の病変のことをいいます。従来は、このような病変は外科手術（バイパス手術）の領域でしたが、当社が CTO にも使用可能な PTCA ガイドワイヤーの開発に成功したことから、現在では、国内においては PTCA 治療（循環器系における低侵襲治療）が主流となっています。

メディカルデバイス事業

メディカルデバイス事業では、循環器系以外の製品を始めとした新市場・新領域分野への進出に取り組んでおります。2007年2月には、米国大手医療機器メーカーとの全世界向の腹部用ガイドワイヤーのOEM契約が締結され、当初2008年度より販売開始がなされる予定でございました。この契約は、腹部系に引き続き、脳血管系等の製品がグローバル市場でOEM取引されることを前提しております。

このたび、米国大手医療機器メーカーの方針変更に伴い、脳血管系の製品に対するOEM取引について、開始時期を大きく前倒しする方向となり、この結果、腹部用ガイドワイヤーのOEMに関しては、優先順位を鑑みOEM取引が中止となりました。よって下期の売上及び利益の業績予想について、下方修正を実施致します。

インダストリアルデバイス事業

インダストリアルデバイス事業が関連する産業機器業界では、主要製造業の景況感の悪化など景気減速感が否めず、業界全体は厳しい環境下にあります。これらを背景として、OA機器関連製品を始めとして、取引全体が減少する傾向にあり、よって下期の売上及び利益の業績予想について、下方修正を実施致します。

以上